

# 気候変動緩和策と適応策の同時推進—洪水危険回避 NPEH 住宅群における Paris 協定目標達成と持続可能生活

## —「食べる」と「建てる」を自分事化した新農本主義・建本主義・新百姓—働き方改革で健康快適安全創造的充実生活の実現

### 概要

Paris 目標達成に残された Carbon Budget は 8 年余と言われ、日本に大型台風が頻りに襲来する状況は実は 2050 年目標では手遅れで本当は 2030 年排出ゼロを達成しなければならないことを意味しているのだろうか 懐疑論もあるが、気候変動への緩和策と適応策の強力な同時推進なしに SDGs を語っても始まらない 後戻りなく着実に持続可能社会に向けた社会変革を推し進めるため日本における resilient な国土利用とそこでの衣食住の姿について完全な緩和策と適応策を具現化する計画例を示す

大河川に近い洪水危険地域における住居群計画を例題に、LCCO2 排出量ゼロ、住宅エネルギー消費量の 6 倍の供給力を持ち電力需要変動に対応できる NPEH(Net Plus Energy House)を提案する

洪水危険地域の土地利用の変革、盛土宅地 NPEH 住宅群の建設、その不動産所有使用権利移転の仕組み、健康で安全な食を実現する農業、経済危機に対応できる働き方、地域社会を維持するコミュニティ形成と地域防災について具体的に示す

本提案の要点を次に示す その意義についてまとめに替えて最後に示す

**完全気候変動対策:** LCCO2 排出ゼロ、需要の 6 倍エネ供給できる NPEH で緩和策、危険地域の住宅撤退と盛土宅地と遊水池で適応策も万全な住宅を実現

**新農本主義:** 『農作物は買う物ではなく作る(栽培する)もの』を指針とする農業法人を設立、消費者が農作業に参加、自産自消、地産地消を具現化、農業の高齢化と後継者問題を解決する 無農薬無化学肥料の自然農法で野菜、米、麦、大豆を栽培し農業摂取を回避、免疫力を高め、その健康影響も社会実験実証する 市民全員が食と農を自分事化し、食の安全を自衛するとともに、持続可能な農業を消費者主導で具現化する 衣食住に医を加え生活の基本を見直すことにつながる

**建本主義:** 農本主義を住宅建設に拡張、『家は買う物ではなく建てるもの』を指針として各種職人仕事を素人市民が取得し、建設技能労働者の不足を補うとともに廉価な住宅建設を実現する

**新百姓:** 主な仕事の他に農作業、住宅建設職人仕事をするだけでなく、副業を並行して持つ 副業は趣味と実益を兼ねたもの、社会貢献活動等、収入以外の何かも得るものであるとよい

**戸建と集合の中間系:** 一宅地複数戸建住宅群: 盛土宅地に塀も垣根もない共有の庭で複数戸の住宅を建てることで一戸建住宅の住みやすさと敷地共有の利点を両立

**脱住宅ローン:** SPC 法人が土地とスケルトン(基礎構造体)を所有することで居住者の住宅ローン負担を軽減、相続対象資産の有効活用と相続時の柔軟な遺産分割が可能に、移転登記不要の所有権使用権移転が可能になる

**100%再生可能エネルギー電力:** 屋根 PVC と非電解水素燃料電池により 100%再生可能エネルギーで需給調整可能な電力供給を実現

**中間都市の逆転魅力化:** 都市と農村の中間、農地と住宅、サービス業務、工業等、用途混在で性格があいまいな地域 (Zwischenstadt、間にある都市) で洪水危険をきっかけに土地利用用途を整理、まとまった農地を整備し、自然栽培都市近郊農業を確立する また人口減少と洪水危険で安い地価を逆手に余裕ある宅地で十分な広さの快適住宅を廉価で提供する

**地域住民自主防災:** 盛土住区はエネ自給、公衆浴場、防災倉庫あり防災拠点

不動産形態	住宅仕様	木材利用	素材生産	エネルギー供給	洪水対策	土地利用	食(農作物)	食(蛋白質)	農作業	建設作業	地域社会構築
SPC法会社資産	国産材伝統木造無垢材軸組構法	国産檜杉材利用	コンクリート不使用	Net Plus Energy House	1 敷地・多住宅盛土宅地	都市・農村中間地域再生	食べる・自分事化	低餌倍率鶏肉	自然栽培農業	建てる・自分事化	近隣防災拠点兼用住区
所有と賃貸の中間系	変形田の字平面住宅	中温乾燥	完全脱セメント	南面屋根PVC	2 段盛土耐洪水宅地	用途混在整理	食の持続可能性	養魚池淡水漁自給	新農本主義(安藤昌益)	職人仕事参加	近隣者農作業地域コミュニティ核
戸建と集合の中間系	部材仕口統一	丸太市場技製材市場技供給	3Dプリンター煉瓦焼成	非電気分解水素燃料電池	洪水危険地域住宅新設禁止	地価下落回避	食料自給食安全確保	河川敷鶏餌取得(雑草みみず)	近隣者農作業参加脱高齢者農業	廉価住宅建設	サッカークラブ他地域連携の核
柔軟な所有権移転	部材長寿命使用	製材所加工建設現場直送	余剰電力利用煉瓦焼成	井戸水熱源ヒートポンプ	洪水危険地域土地利用変革	都市近郊農地整備	緊急時食料確保	河川敷・湾処・里水辺整備	都市農村中間地野菜栽培適地化	匠の技継承	地域防災力強化
スケルトンインフィル住宅	二層基礎加重支持	木材トレーサビリティ	需要地個別少量生産	温排水熱回収	洪水危険地域農地化	住農接近実現	大豆食文化継承	天然淡水魚資源	新百姓(多職業生計)	自分の好み実現	地域伝統文化継承
仕上内装部居住者資産	南面二重架構	林業林産業経営復興	現地素材利用	燃料電池コジェネ	洪水危険地域遊水池整備	アメニティー向上	大豆小麦米自給	トウモロコシ輸入削減	自然栽培農家地域連携	デザイン権自覚	他地交流経験全人格教育
住宅ローン負担軽減	高自由度耐震壁選択	再植林法正林化	脱大量生産脱長距離輸送	井戸水(湧水)利用	遊水池養魚場利用	適密度国土利用	輸入食材摂取削減	新厨房加熱機器(技術開発)	農作業を通じた健康向上	建設労働力不足回避	地元意識の醸成